

広土会新聞

第30号

2026.3.1 発刊

発行所 広島工業大学 広土会
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
TEL 082-921-3121

2025 年度を振り返って



広土会会長

石井 義裕

鶴学園は、2026 年 2 月 23 日に創立 70 周年を迎え、現在、創立 100 周年という未来への新たな一步を踏み出しています。私たち広土会の皆様もまた、1965 年（昭和 40 年）4 月 1 日の土木工学科設置から 61 年という歩みを重ねてきました。その間に、時代の要請に応じる形で、建設工学科、都市デザイン工学科、そして現在の環境土木工学科とその名称を変遷していますが、その根底にある「土木」の精神、すなわち「人々の暮らしを支え、安全を守る礎を築くという志」は、いつの時代も変わることなく受け継がれています。

同窓会である広土会では 2023 年に 55 周年記念事業を盛会のうちに終え、2028 年には 60 周年という大きな節目を迎えようとしています。同窓会の存在意義は単なる「旧交を温める場」に留まりません。異なる世代の技術者が集い、経験を共有し、時には厳しくも温かい助言を送り合う。こうした「縦の繋がり」こそが、私たちの最大の財産であり、正解のない激動の時代を生き抜くために、今以上に重要な知恵の

源泉となってくるはずで、若手技術者の斬新な発想、シニア技術者の豊かな経験、これらの融合が新しい時代の「土木」を形作る原動力になると信じてやみません。

環境土木工学科の近況を御報告申し上げます。現在、伊藤雅先生を学科長として教職員 13 名体制で教育・研究にあたっています。2025 年 4 月には堤康雅先生（物理）が着任されました、一方で、2026 年 3 月には昨年電気システム工学からこられた石橋和葵先生（数学）が島根大学へ移動されます。沖広先生には学生支援アドバイザーとして、学生の学修上の相談をはじめとして履修指導や就職の相談も乗っていただいています。村中先生には、2026 年度も引き続き測量学実習・建設工学実験・設計製図をはじめとする科目において実験・実習の指導をお願いしています。小堀先生には引き続き客員教授として学生の資格取得（特に技術士 1 次試験）にご尽力を頂いており、在学中の合格者が 6 名になっています。新 2 号館 2F には、通称「土木塾」の部屋を設置し、学生が自由に自主的に学習ができる環境も整っています。

2025 年度は改組もあり定員 80 名と

なりましたが 60 名の入学生となり、学科全体では在籍学生が 236 名となっています。また、大学院にも 3 人（本学科からの進学者）が在籍しています。

2026 年 3 月に卒業生する予定者は約 60 名となっており、本学大学院への進学者が 1 名、他大学大学院への進学者が 1 名います。

同窓生の皆様のご尽力も有り、就職率は 100% 近くとなり大変感謝申し上げます。大学院修了者の就職においても、是非ともよろしくお願い申し上げます。現在、就職活動に励んでいる現 3 年生は 63 名おり、大学院進学者希望者も数名います。引き続き、学部学生・大学院生の就職へのご協力・ご支援をお願いいたします。（なお、人数はすべて 2025 年 5 月時点のデータです）

最後になりますが、広土会会員の皆様の益々の発展とご健康を祈念して、挨拶とさせていただきます。

新 任 挨 拶



新任のご挨拶

環境土木工学科 講師

堤 康雅

2025 年 4 月に環境土木工学科に着任いたしました堤康雅と申します。このたびご縁をいただき、新たな分野の教育に携われることとなりました。専門は物理学であり、広島工業大学では環境土木工学科および建築工学科の学生を中心に、建設系の専門科目の基礎となる力学などの授業を担当しています。どうぞよろしくお願いいたします。

着任前は、関西学院大学の理学部に勤務しておりました。兵庫県から広島県への異動となり、広島に住むのは今回が初めてです。しかしながら、学生時代に岡山大学のヨット部に所属しており、ヨットの大会のために年に数回は広島を訪れる機会がありました。その頃に、岡山から広島まで小型船舶を自ら操縦して訪れたこともあります。広島と岡山の航路のなかで特に印象に残っているのは、平清盛が開いたと伝えられる音戸の瀬戸です。狭い海峡のため潮の流れが非常に速いので、航行に細心の注意が必要だけでなく、音戸の瀬戸での潮流の向きに合わせて航行時刻を計画したため、印象的な航路として記憶に残っていました。土木に関わるようになり改めて思い起こしてみると、水路を開くという土木事業の壮さに感嘆するとともに、およそ千年もの年月に渡り、水路が航行できるように維持されてきたという歴史にも重みを感じます。

着任後に学生と接して感心したのは、学生たちが卒業後の進路や将来像を明確に持っているという点です。これまでに勤務してきた大学の理学部では、将来やりたいことをはっきりと説明できる学生は多くはありませんでした。学生たちが目指す専門分野で活躍できるように、基礎となる物理科目の理解を確かなものとしてもらうため、授業方法を日々工夫しながら教育に取り組んでいきたいと考えております。

私の物理学での研究分野は、超伝導現象などの量子力学に基づく原子スケールの現象に関する研究です。扱うスケールは土木工学の世界とは大き

く異なりますが、研究で用いてきたコンピューターシミュレーションの手法は、土木分野にも応用できる余地があるのではないかと考えています。広土会会員の皆様からも多くを学びながら、土木技術に新しい視点を提供できるよう努めてまいりますので、ご指導を賜われましたら幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

支 部 だ よ り



近況報告

関東支部（40 期生）

菅原 勇人

平成 20 年 3 月に工学部建設工学科を卒業しました第 40 期生の菅原勇人です。卒業後、片山ストラテック株式会社に入社し、会社の統合もあって現在は社名も変わりましたが、日本ファブテック株式会社に勤めて早 18 年の年月が経とうとしております。

入社後、3 年間は設計部に所属し、主に NEXCO 等の詳細設計業務を担当しておりました。入社 4 年目からは営業部に配属となり、現在は国交省案件を中心とした積算業務を担当しております。もともと橋梁メーカー志望ということもあり、大学でも橋梁について学んでいたのですが、いざ働くとなると大学で学んでいるのとは勝手が違い、基本的な専門用語がわからない等、橋梁に携わる者としての自分のレベルの低さを痛感させられる日々でした。それでも、先輩や上司、あと客先の方にご迷惑をかけながらも、必死に橋梁について学び、多くの失敗を経験していくことで、少しずつではありますが成長できているのかなと思います。それに、自分が携わった工事が完成していくにつれて充足感も感じる事が出来、また一段と頑張ろうと活力を貰っています。去年からは組合の執行委員も務めており、春季生活闘争や一時金の交渉、社内行事等、業務以外のことでいろいろなと忙しくもしておりますが、今まで携わってこなかった分野のことで新鮮さもあり、意外と楽しく活動しております。子供のころから橋梁に携わった仕事したいとこの世界に飛び込み、当初は設計、現在は積算と工事

に携わる形は変わりましたが、今後も自分にできることを精一杯頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、広島工業大学の益々の発展と、広土会皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。近況報告とさせていただきます。



近況報告

島根支部（21 期生）

戸津川 美二

広土会会員の皆様こんにちは、私は、昭和 61 年卒業の 18 期の戸津川美二（とつかわみつぎ）（広工大在学時は旧姓：来須（らいす））と申します。現在、広工大同窓会山陰支部浜田地区の代表も担っております。大学を卒業してすぐの 2 年半は、広島市内の民間コンサルタントにいましたが、その後地元浜田に帰りまして、昭和 63 年 10 月浜田市役所に入職し、令和 7 年 3 月まで勤務させていただきました。定年（61 歳）を契機に退職いたしました。おかげをもちまして、市役所では行政の土木技師として 36 年間務めさせていただきました。そして昨年 10 月には、諸所ご縁ありまして、浜田市議会議員になりました。永年の行政経験を活かして、まだまだ地元の島根県浜田市を盛り上げるために頑張っていきたいと、市議会議員になることを決意したところです。早速 11 月に松江で開催されました広工大同窓会山陰支部の総会において、お話しする時間を頂き、地元浜田の紹介をさせていただきました。浜田と言えば、「美味しいお魚、良質な温泉、躍動感のある石見神楽」この 3 点が何ととっても推しであります。是非、浜田にお越しいただいた際は、ご堪能いただきたいと思います。

さて 5 年前になりますが、私が市役所で都市建設部長を担っていた時に、職員採用にも関わらせていただきました。市のインフラ整備には欠かせない土木・建築技師の採用です。今では当たり前の状況かもしれませんが、応募者が非常に少なく、建築技師においては数年一人も応募者がいない状況もありました。私たちの世代では考えられなかったことですが、高校生だけでなく小中学生に対して土木建築の業種に興味を持ってもらえるような仕掛けが今後は必要であると考えます。

2026 年（令和 8 年）になりまして、1 月 6 日

総合建設業

KURIMOTO

心の映像カタチにします

代表取締役社長 前川 拓也
〒733-0035
広島市西区南観音7丁目14番20号
TEL 082-293-8500
FAX 082-295-8231
営業所 岩国

QRコード

ホームページ Instagram

株式会社伏光組

HP

採用

draw dreams on the ground

TAMURA

株式会社 田村建設

〒731-0122
広島市安佐南区中筋3-27-26
TEL:(082)870-3191
FAX:(082)870-3193

総合建設業

三島産業株式会社

HPはこちら

「自然と人間」のための環境づくり

富士建設株式会社

〒720-8507
広島県福山市神島町10番18号
TEL: 084-951-2820
URL: https://f-fujiken.co.jp

皆様からの信頼を財産に

八光建設工業株式会社

HAKKO

本社 〒732-0052 広島市東区光町2-4-23
Tel(082)262-8166(代) Fax(082)263-8189
https://hakkokensetu.co.jp/

の島根県東部、鳥取県西部を中心に発生しました地震では、8年前同様久しぶりの揺れに恐怖を感じました。幸いにも大きな被害もなく落ち着いてはおりますが、九州の同級生からすぐに安否のご連絡をいただき、あらためて同級生のありがたさに感謝しているところです。この浜田では154年前（明治5年）に大きな地震があり、500人を超える死者が出るほど甚大な被害がありました。地震はいつ起こるかわかりません。地震に対しての備えが必要だと改めて感じたところです。

最後になりましたが、広土会の益々のご発展と会員皆様のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます、近況報告とさせていただきます。



近況報告
広島県北支部（17期生）
支部長 加藤 雅規

皆様こんにちは、國原前支部長の後を受け令和7年9月から支部長を拝命することになりました17期卒業の加藤雅規と申します。微力ではございますが、広島県北支部を盛り上げてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

広島県北支部では昨年9月にコロナ禍以降、総会を久しぶりに開催することができました。

総会では村中先生にもご出席いただき、令和元年度から現在までの事業実施状況と会計報告を行うとともに役員の改選も行いました。永年支部長を務めていただいた、國原定明さんから私が引き継ぐこととなり、副支部長を20期の加島俊次さんが引き受けてくださいました。また、理事数名も改選されて若干若返ったところでございます。

広島県北支部は、1989年8月に和田一雄初代支部長の声掛けで設立されました。私は1985年に卒業してすでに三次市内で勤務しておりましたので設立当初から入会させてもらっていました。その当時は1期生でも40代、私は20代と若かったですから、総会の懇親会もとても楽しく、学歌や工大節を歌って盛り上がり、國原前支部長がその日の内に帰宅されたことは聞いたことも無いほどでした。

あれから37年、役員は全員50歳を超えています。すでに退職された方も多いのですが、何かしていないと生活もままならないご時世であり、

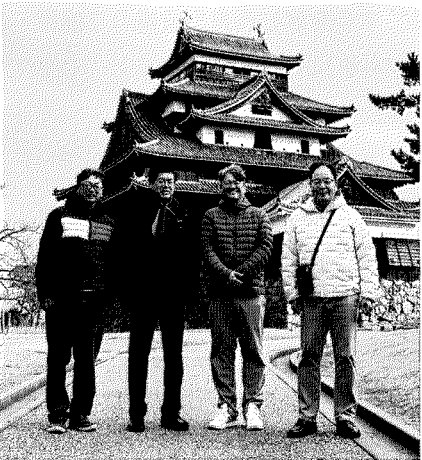
なかなか元気で時間に余裕のあるOBは少ないのが現状です。しかし、新役員体制もスタートしたばかりであり、今後の運営を一層盛り上げていくため1月末に親睦旅行を開催することとしました。

2027年度を目途に存廃協議が行われている渦中の芸備線を利用して松江まで1泊する予定です。ルートは三次～備後落合～新見～松江を約5時間で結ぶという贅沢な時間を楽しむ企画です。降雪による運休は危惧されますが楽しみにしています。

ちょうど原稿を書く前に急遽衆議院選挙日程が決まったため、広島3区の2名が旅行をキャンセルされたことは残念ですが仕方ありません。

若干、広島県北部の土木工事状況にも触れますが、平成30年災害もほぼ復旧され、工事発注量は徐々に少なくなってきております。学校の統廃合をはじめ、中山間地域の予算規模が減らされているのが心配なところ。都市部への一極集中の解消には、中山間地域の盛り上げが重要と考えます。我々広島県北支部はこれからも広島工業大学と連携して、地域のために頑張る卒業生の抛り所となるよう活動を続けてまいります。

終わりに、広土会のますますのご発展と会員の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。



近況報告
広島県東部支部（31期生）
半田 友紀

広土会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は、東部支部 31期生の半田と申します。令和6年（2024年）の広島県東部支部会総会より幹事をさせていただき広土会への行事に参加させていただいております。私は、平成11年（1999年）に広島工業大学を卒業後、建設会社に施工管理職として6年間、中国県内で務めておりましたが、平成17年（2005年）よりコンクリート二次製品製造販売をしております美建工業(株)へ入社し、販売営業から設計営業の業務をしております。私の現在勤務する美建工業では、生産性と施工性と機能性を考慮した製品の検討を行い、その時期に適応した製品を提供できるように努めております。最近の製品PR強化製品としましては、型枠の必要なく複雑な形状も製品化できる【建設用3Dプリンター】。大型練積ブロックとして前面と背面をコンクリート製品とし繋ぎ合わせる部分を鋼材で対応し自由に長さや傾きを変えることができる【ガーディアンII】。街路側溝として可変勾配に対応し施工容易な【マルチスリット側溝】。こうした様々な製品を皆様に知っていただき、利用していただけるように私は努めております。

勤務の中で西日本豪雨におけます災害被害状況を目の当たりにすることがありました。営業活動範囲の中での災害状況を現地で確認でき浸水、道路陥没、法面崩壊、河川崩壊等の悲惨な状況でした。災害発生してからは、災害前の工事案件のほとんどが中断することとなり、1年間くらいは自社製品の出荷が滞るような状況でした。復旧作業工事が始まる頃には、主要製品である間知ブロック、環境ブロックの製造、出荷が間に合わないという出荷の手配を行う営業としては、不甲斐ない状況が続いたのを覚えております。プライベートの生活面におきましても断水が二週間も続き、風呂、トイレの使用する生活水は疎か、飲料水においての確保も困難となりました。自分の中で災害対策の重要性を見直すことができたのではないかと思います。

業務での活動の中、土木建設業界におけます、官公庁、施工会社、コンサルタント、同業メーカー



civil engineering work MIYABE

株式会社 **ミヤベ**

本社：山口県岩国市元町一丁目8番10号
電話：0827-21-6245



HP

Instagram

YouTube



島建コンサルタント株式会社

代表取締役社長 多久和 豊

本社：島根県出雲市大社町入南1307-45
TEL: (0853) 53-3251

事務所：浜田
営業所：大田/雲南/邑智/雲南/広島/鳥取



〈ホームページ〉



〈SNS〉



宮川興業株式会社

広島市安佐南区大町西3丁目11-42 〒731-0125
TEL: (082) 879-6000(代) FAX: (082) 879-8899



株式会社 **神崎組**

代表取締役社長 **神崎 文吾**

本社 姫路市北条口三丁目22番地
TEL 姫路 (079) 223-2021(代表)
FAX 姫路 (079) 281-8191

事業所 敦賀・三木・岩国



仕事はやがて原風景になる

山陽建設(株)

コーポレートサイト リクルートサイト



SMART
CONSTRUCTOR

進化するケンセツ

KATO
Construction Co., Ltd.



内での広島工業大学の先輩、後輩の多さには驚かされております。広工大出身であるというだけで、親近感が湧き自分もいろいろと可愛がっていただき助けられているという実感はあります。建設土木という専門的に特化した学科における分野だからこそ大学を卒業しても同じ業界で活躍でき、これだけの多くの方々の関係性が保たれているのだと思います。東部支部の幹事をさせていただき、卒期・氏名・勤務先を記した広土会のこうしたネットワークの情報の整理を行うことは重要なことだと感じました。情報を活用し、お互いのコミュニケーションを通して、活躍できる範囲を広げ、スキルを高めることが可能となります。こういった状況を維持できるように務めていきたいと感じております。



近況報告
広島支部（26期生）
支部長 新田 勉

広土会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
私は広島支部の支部長を務めさせていただいております新田(平成6年卒業第26期生)でございます。微力ながら支部を盛り上げていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
令和10年には広土会創立60周年を迎えます。この節目を迎えるにあたり、会員の皆様のご理解とご協力のもと、しっかり準備を進め、盛大な記念事業を開催できるよう努めてまいります。また、豊富な知識と経験を持つ諸先輩方をはじめ、皆様と力を合わせて、広土会のさらなる発展に取り組んでまいります。
私は大学卒業後、広島県に入庁し、本庁の技術企画課、道路整備課、砂防課および東広島や廿日市などの地方機関に勤務してまいりました。現在は西部建設事務所安芸太田支所で社会インフラの整備や維持管理に従事しております。これまでに、瀬戸内海に架かる安芸灘大橋や第二音戸大橋などの長大橋の建設や、東日本大震災の復旧・復興支援のため福島県への災害派遣、平成30年7月豪雨災害などの甚大な被害をもたらした災害復旧対応など非常に貴重な経験を積ませて頂きました。この間、多くの広土会の諸先輩方にご指導いた

き、この場を借りて厚く御礼申し上げます。
広島県は瀬戸内海と中国山地の豊かな自然に囲まれ、比較的温暖な気候であり、牡蠣やレモンなどの農林水産業が盛んなほか、造船や自動車などの商工業も発達しており、「日本の縮図」と称されています。私が勤務する管内（安芸太田町・北広島町）は、山間部で森林が大半を占め、恐羅漢山をはじめとする中国山地の1,000 m級の連峰からなる地域で、三段峡など四季折々の自然や文化、スキー場、アクティビティー、温泉など県内でも人気の観光地です。一方で過疎化により人口減少が進んでおり、地域の担い手である建設業者や従事者及び県・町の土木職員も減少しており、インフラ老朽化と人手不足が同時に進行し、災害時の緊急対応や除雪対応に関しても懸念が高まっています。そのため、広域・他分野の「地域インフラ群」に対して、自治体、事業者、技術者の3つの束によりメンテナンス業務の効率化を目指す『地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）』と呼ばれる新たな維持管理体制の検討も始めています。
少子高齢化の進行、激甚化・頻発化する災害対応、公共土木施設の老朽化の加速、デジタル技術の進展などにより、土木技術者の役割はますます重要となる一方で、将来を担う人材が激減しております。広土会会員においても若手の減少や離会が見受けられ、土木技術者の業務や役割に関する情報発信や、在学生への技術支援を通じて、広土会の役割の重要性を理解して頂く活動も大切と考えております。皆様には、今後とも広土会および広島支部の活動へのご参加、ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。
最後になりますが、広島工業大学および広土会のますますの発展と会員の皆様のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



近況報告
広島西支部（20期生）
支部長 高橋 正樹

広土会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
令和7年度から前市川西支部長の後任として、広島西支部長を務めさせていただくことになりま

した昭和62年度卒業第20期生の高橋と申します。大役ではありますが微力ながら支部を盛り上げていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
私は大学卒業後昭和63年に廿日市市役所へ入庁し、気づけば38年が過ぎ去り、「光陰矢のごとし」とはまさにこのことです。入庁したことはつい昨日のこのように記憶が蘇ります。当時の経済状況はいわゆるバブル期で、町政から市政に大きく転換する年度でもあり、採用人数が増えなんとか就職に滑り込めたと記憶しています。入庁後のいきなり市政に伴う時間外の事務作業があり、昭和の時代感を改めて感じております。市役所では「工大会」という組織が既にあり、土木工学科、建築工学科、経営工学科の卒業生で約50名で構成され、割合的には土木工学科が多くを占め、春には新人歓迎会、年末には忘年会、時には親睦旅行旅行を兼ねた現地視察の際は、諸先輩方には多大なご迷惑をおかけしながらも、雑談を交えながら仕事の相談など親交を深めた記憶があります。また、公共事業の発注ということから、関係機関である県やコンサルタント、ゼネコン、土木建設業者など多くの土木工学科の諸先輩方と協議や相談を交えることができ、改めて工大生の影響力は偉大であると感じております。また、隣接する市町との協議では、同期の卒業生も在籍していることから、お互いの仕事の状況など情報交換ができれば非常に助かっています。

現在、造成工事を行っている平良丘陵開発土地区画整理事業では、当時事業構想を推進していくため、事業の目的達成のための土地利用のあり方を検討する「土地利用検討委員」を立ち上げ、平成28年度当時学識経験者の委員長として中山隆弘名誉教授に重要な役割を担っていただき、委員として今川朱美准教授には貴重なご意見やアドバイスをいただき深く感謝しております。このような縁で今川先生の講義に公共事業の関連で参加させていただく機会があり、学生の活発な意見を拝聴した際は、将来への期待や可能性が伺え、今後の活躍に大いに期待されると感じています。
さて、広島支部の近況報告ですが、令和7年3月22日広島西支部の総会及び親睦会を開催しました。総勢26名でピッツェリアカナダカン廿日



MOTOTOWA

太陽光パネルリサイクル事業

株式会社西建設 西 泰行
代表取締役

713-8125 岡山県倉敷市玉島勇崎1097-6
086-528-0919 086-528-1197
https://mototowa.jp

道路埋設指針 建設大臣認定擁壁

PCボックスカルバート ザ・ウォール (H=5.0m)



株式会社 マシノ

本社	〒733-0622 広島市西区庚午中1-19-23	(082) 507-2757 (代)
東広島営業所	〒739-2312 東広島市豊栄町別府270	(082) 432-4132 (代)
福山支店	〒720-0806 福山市御門町2-5-39	(084) 925-8955 (代)
岡山営業所	〒700-0802 岡山県岡山市北区北長瀬長町2-3-25-202	(086) 805-0703 (代)
山口支店	〒754-0002 山口県山口市小郡下町1130	(083) 973-3533 (代)
江津営業所	〒695-0003 島根県江津市松川町下河戸188	(0855) 55-0124 (代)
本店	〒699-5133 島根県益田市神田町口615	(0856) 25-2380 (代)
工場	広島・益田	



東洋建設

中国支店長 藤野 智亮

【本社】東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング11階
TEL: 03-6261-8450

【中国支店】広島市中区猿山町3-1 ひろしまハイビル21 11階
TEL: 082-567-5051

ホームページ  採用サイト 



株式会社砂原組



洋ようと 伸びのびと 夢をかたちに



洋伸建設株式会社

代表取締役 山本 晴樹

本社 〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 TEL(082)511-4520
アパデュグラント7F FAX(082)511-4521

営業所 福山・呉・廿日市・山口・四国・九州
事業所 黒旗
ホームページ <http://www.yoshin-const.co.jp/>

土木建築サービス業



株式会社安芸建設コンサルタント

代表取締役 西家 宗利

〒736-0082
広島市安芸区船越南四丁目3番25号
TEL082-823-8000 FAX082-823-7171

営業所 福山・三原・東広島・呉

測量・建設コンサルタント・地質調査・補償コンサルタント

当社はメイホーホールディングス（東証1場）のグループ会社です。



市店の2階を貸し切りにて行いました。例年参加メンバーは大きくは変わりませんでしたが、仕事の話や近況報告など和やかに親睦を深めました。毎回話に出ることは若い会員の参加者が少ないため、若者の参加を増やして広土会を盛り上げていくという発言ができました。ぜひ会員の皆様のご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、広土会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。



近況報告

関東支部（18期生）

支部長 檜垣 誠

広土会会員の皆様、私は関東支部で支部長を務めさせていただいております第18期（昭和61年3月卒）の檜垣（ヒガキ）と申します。

関東支部長を2018年4月より拝命し、翌2019年には第26回広土会関東支部総会を盛大に開催させていただきました。しかしながら、2020年～2023年の長きに渡り新型コロナウイルスの影響により休会を余儀なくされておりましたが、2024年の第27回、そして昨年2025年5月24日（土）には、アルカディア市ヶ谷において第28回広土会関東支部総会を無事開催することができました。当日は、広土会の歴史を深く刻む2期の大先輩方をはじめ、総勢15名の会員が一堂に会しました。会場は終始和やかな雰囲気に包まれ、長年の旧交を温める声、そして新たな出会いを喜ぶ声が響き渡りました。参加者からは、それぞれの近況報告や、広島工業大学での思い出話に花が咲き、世代を超えた交流の重要性を改めて実感する機会となりました。このような対面での交流は、オンラインでは得られない温かさがあり、支部の結束をより一層強固なものにすると確信しております。総会では、今後の支部活動の方向性についても活発な意見交換が行われ、会員一人ひとりが支部の未来を共に考える貴重な時間となりました。また、昨年3月には、広島工業大学同窓会関東支部の事務局と交流させていただく機会に恵まれました。この交流を通じて、両支部の連携を深め、情報交換を行うことで、同窓会全体の活性化に繋がる可能性を強く感じました。異

なる学科の同窓会支部が手を取り合うことで、より広範なネットワークを構築し、会員の皆様にとって有益な活動を展開できるものと期待しております。そして、先日には、広島工業大学同窓会誌への寄稿依頼を頂戴いたしました。これは、広土会関東支部の活動が学園全体に認知され、その存在意義が評価された証であると受け止めております。依頼を受け、昨年の広土会関東支部の活動状況や、総会の様子、そして今後の展望など、近況を詳細に報告させていただきました。この寄稿が、広土会関東支部の魅力を広く伝え、より多くの同窓生に興味を持っていただくきっかけとなれば幸いです。これらの活動は、ひとえに日頃から広土会を支えてくださる皆様のご理解とご協力の賜物であり、この場をお借りして深く感謝申し上げます。今後も、広土会関東支部は、会員間の親睦を深めるとともに、広土会全体の発展に貢献できるよう、積極的に活動を展開してまいります。末筆ではございますが、広土会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

卒業生だより



「日建連土木賞」特別賞を受賞

山陽工業株式会社（19期生） 代表取締役社長
鈴江 克彦

昨年11月28日に東京で行われた「日建連表彰2025表彰式」で、当社が広島市安佐南区で施工した「鳥越川1号砂防堰堤」が土木賞特別賞を受賞しました。その受賞理由は次のとおりです。



「日建連土木賞」表彰状授与（2025.11.28）

2014年8月20日の広島豪雨土砂災害は全国的にもそれまで例の無い都市型の災害となり、77名の尊い命が奪われるとともに、多くの住宅地が土石流に巻き込まれ、家屋・道路・河川等の社会インフラに甚大な被害をもたらしました。当社は、発災翌日から現地に入り、土砂撤去・強靱ワイヤーネット・進入路確保等の応急復旧作業に昼夜を問わず従事し、早期の災害復興を目指しました。

翌年からは、国土交通省の緊急砂防事業が開始され、当社は砂防堰堤6基を建設しました。その中でも鳥越川1号砂防堰堤工事は、流路工・管理用道路の整備も含め10年にわたり携わり、2021年8月の豪雨では4,500㎡の土石流を食い止め、下流地区の被害を未然に防止することが出来ました。

またこの間、地元小学校の総合的な学習で、自然災害に関する知識の習得や防災に対する意識の向上を目的として現場学習会の開催や地元のまちづくり活動に参加し住民と一体となった復興活動に取り組んで来ました。

特に2024年8月の慰霊式では、発災から10年の節目に子供たちに災害の記憶を承継したいとの地元町内会の想いに応え、プロジェクションマッピングで「8.20 忘れない 土砂災害」のメッセージを、砂防堰堤壁面に繰り返し投影しました。地場建設業者としての社会的責任を日々意識し、地域住民と共に歩んで参りました。

このような砂防堰堤工事以外の取り組みを特に重視され、地域の守り手として、安全・安心、地域の発展に貢献するとともに、土木の魅力発信、建設業のイメージアップに取り組んだ好事例として評価されたものです。

今回の「日建連表彰2025」の受賞案件は建築部門の「BCS賞」15件、「土木賞」12件（特別賞2件を含む）の全27件が受賞となりましたが、土木賞の受賞者は、当社以外は国家の大プロジェクトを施工した大手ゼネコンでした。一般社団法人日本建設連合会（「日建連」）の会員でもない地場建設業者に過ぎないわが社が、単独施工としては全国初の受賞に選ばれたことにとても驚いています。早期復興の思いを強く持ち、二次災害の危険が残る中で、頑張ってくれた社員と協力会社に対して改めて感謝を表したいと思います。今回の受賞は、復興工事に従事した全ての関係者に対するご褒美

計画・設計に特化した 広島建設コンサルタント

DEC 株式会社 土木技術コンサルタント

〒733-0011
広島市西区横川町2丁目7-19
横川メディカルプラザ 7F
TEL:082-235-0211
URL: <https://www.decnet.co.jp/>



人と自然の明日をつくる

We create a tomorrow of people and nature

建設コンサルタント



相生エンジニアリング株式会社

代表取締役 森 脇 克彦

本社 〒733-0025
広島市西区小戸内町二丁目1-6
TEL(082)942-1241



広成建設グループ



建設コンサルタント
中国施設設計株式会社



鉄道土木構造物の調査設計・測量・検査を中心に、地域・社会に貢献します。

〒732-0052 広島市東区光町二丁目7番17号
TEL (082)261-0227(代) FAX (082)261-1630



山陽工業株式会社

代表取締役 鈴江 克彦 (S62年3月卒)

広島市中区十日市町1丁目1-9 〒730-0805
TEL:(082)232-6471 FAX(082)291-2233



総合建設コンサルタント

株式会社 **ココロ**

代表取締役社長 下 花 眞 二

本社 〒734-0011
広島市南区宇品海岸三丁目13番28号
TEL(082)250-8515(代表)

ソーシャル・レジリエンス実現企業®として
— 安全・安心・快適、そしてその先へ —

増岡組

広島 広島市中区鶴見町4番25号 TEL 082-504-5050
呉 呉市中央一丁目6番28号 TEL 0823-21-1441

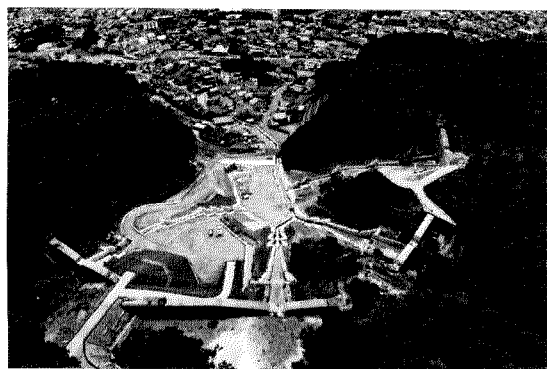


だと思っています。

昨年の12月22日に母校の環境土木工学科3年生に「鳥越川1号砂防堰堤」の建設過程や砂防堰堤建設工事と地域のつながりの重要性をテーマに出前講座を行い、将来の進路の道標の一つにして貰いたいことを伝えることが出来ました。

近年、激甚化・頻発化する自然災害に対し、最優先で復旧・復興を行うことがわれわれ建設業の一番の責務です。そして国土強靱化に対する期待に応えるという、強い使命感とやりがいを感じることができる仕事であること微力ながら、これからも、後輩に伝えていきたいと考えています。

最後に、本紙面をお借りしまして、改めて土木賞受賞に関して、母校の教職員・先輩・後輩諸氏の皆様に御礼を申し上げさせていただきます。誠に有難うございました。



土石流をせき止めた鳥越川1号砂防堰堤(2021.8.15撮影)

お知らせ【重要】

2024年5月23日～2025年11月10日の期間に住所変更等を行ったデータのバックアップができていませんでした。大変ご迷惑をお掛けいたしますが、その期間に住所変更等を行った会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが再度変更をお送り下さい。但し、E-mailで変更したものについては変更できています。FAXで変更をお送りしたものについては再度お送り下さい。

今後はバックアップ頻度を上げて対応してゆきたいと思います。

事務局だより

広土会の活動は会員の会費納入で運営されています。同封の広土会会費の納入と連絡先確認のお願い用紙の会費納入欄の右欄の○年3月の○が空白、会費未納あるいは期限切れの方はこの点を御理解いただき、会費の納入をお願い致します。**終身年3月の方は会費の納入の必要はありません。**

また、23期生の方は会費5,000円納入で終身に移行できますので納入の方よりしくお願いいたします。

広土会のホームページのアドレスは下記のとおりです。広土会55周年記念事業等を閲覧するには、パスワードが必要となっております。パスワードは下記のとおりです。入力間違いないようお願いいたします。

広土会新聞は会員の情報誌です。今年度は、8期生ー50周年、18期生ー40周年、28期生ー30周年、38期生ー10周年、48期生ー10周年を迎えます。記念祝賀会等を行われる場合には事務局にご連絡をいただければご協力いたします。

皆様からの情報、ご意見、ご感想をお待ちしております。FAX、またはメールでご連絡下さい。広土会新聞に投稿記事があれば併せてお願いいたします。

***事務局には専属の事務員がいません。恐れ入りますがご連絡等はFAXかメールにてお願いいたします。**

HPアドレス：<http://www.kodokai1968.jp/>

パスワード：kodokai2014

FAX (082) 921-8976

E-mail：kodokai@cc.it-hiroshima.ac.jp

総合建設業
占部建設工業株式会社
代表取締役 占部 寛
本社 〒720-0816 福山市地吹町18番16号
TEL(084)922-1254 FAX(084)922-1276
広島支店 〒738-0004 廿日市市桜尾二丁目8番3号
TEL(0829)32-1224 FAX(0829)32-8779
井原営業所 〒715-0022 井原市下出部町二丁目22番4号
TEL(0866)67-1300 FAX(0866)67-1215

豊かな環境を創造する
総合建設業
KYCRIZ 株式会社 共立
本社 〒730-0051 広島市中区大手町4丁目6番16号
TEL (082) 246-4151 (代表)
FAX (082) 243-1870
企業ホームページ▶

広告募集
広告料：15,000円
E-mail：kodokai@cc.it-hiroshima.ac.jp

豊かな大地を築く **RIKUCHI**
代表取締役 佐々木 仁志
株式会社 陸地コンサルタント
本社/〒739-0005 東広島市西条大坪町8番27号
TEL082(423)2627 FAX082(422)6303
E-Mail:soumu@rikuchi.co.jp
<https://www.rikuchi.co.jp>
ISO 9001 認証取得

人にやさしく、確かな技術で、夢を懸け、豊かな国づくりに貢献します。
極東興和株式会社
プレストレスト・コンクリート橋梁の施工
コンクリート構造物の補修・補強

高見建設株式会社
TAKAMI KENSETSU Co.,Ltd
地域とともに、未来をつくる
代表取締役 高見 浩司
本社 〒720-2102
広島県福山市神辺町字東中条300番地
TEL (084)967-0205 FAX(084)967-0077
<https://takami-kk.co.jp/>